

第887号

令和4年7月13日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

子どもの心の声を聴ける大人になりたい



佐渡市立相川小学校
校長 本間 智英

ある雑誌を読んでいると、
「子どもの心の声を聴きたい」と
いうタイトルが目にとまりました。

「子どもの声」ではなく、「子どもの心の声」に、私の何かがヒットしたようです。

「心の声を聴く」というのは、相手の感情を表情や行動から読み取り、言葉にするのを手伝うこと、と書かれていました。つまり、子どもの行動の後ろには、その子の感情があるということが分かります。そして、怒りの感情の後ろには「変われ」という願いが、悲しみの感情の後ろには「助けて」、喜びの感情には「増やして」、つらい・苦しいという感情には「取り除いて」という願いがあるそうです。

これまでの自分を振り返り、子どもの行動や感情の後ろにある願いまで想像していただろうか、いやその前に、その子の感情をしっかり受け止めていただろうか。自問自答を繰り返しながら、想像力を働かせる日々です。

参考・引用 副島賢和「子どもの心の声を聴きたい」『学校教育相談 2022年4月号』



トラブルは、関わりがもてる証拠！

新潟県義務教育課が令和2年度に改訂した「特別支援学級ガイドライン」には、『友達とのトラブルが多いということは、コミュニケーションをとることはできていると判断でき、その方法に課題があると解釈できる。』とあります。ことば・こころの教室に通っているお子さんは、友達と関わりたいと願い、友達と関わっているからこそトラブルになってしまうことが多々あります。“トラブルは悪いもの”ととらえがちですが、このように考えるとトラブルになってしまうお子さんの気持ちに寄り添うことができます。

集団の中に入りにくくなってしまったAさんですが、近頃少し元気を取り戻してクラスの活動に参加することが多くなりました。でも、その分友達とのいざこざが増えてきたとのこと。担任の先生は、Aさんともトラブルの相手とも根気よく対話して、Aさんに適切な関わりかたを教えてくださいました。とてもありがたいことです。“元気になるって関わりを求めている”ことは、Aさんが不安定な気持ち乗り越えて成長した証拠です。それを認め、Aさんの気持ちに寄り添ってくださっている担任の先生に感謝！！です。

“トラブルにならないためにあえて関わらない”という選択をした人もいます。小さい頃からBさんとCさんはすぐケンカになってしまふ犬猿の仲でした。そこでBさんは、Cさんと“関わらない”ことにしたそうです。廊下ですれ違って何か言われても、「ありがとう」と言うくらいで、言い返さないことにしたと教えてくださいました。少し大人になり、友達との関わり方を工夫できるようになったBさんの笑顔がまぶしい！！(香遠)

親の会コーナー



保護者の声

小学生保護者

なかなか宿題をやらない息子。そのため学期末になり、ドリルの提出期限が迫っていても何かと理由を付け、少ししかやりませんでした。親が逆算し、〇ページずつ進めばいいと説得しても全く聞く耳を持たず、とうとう学期末までに終わることができませんでした。

そんなことが続いたある日、通級の際に息子がそのことを先生に話したところ、通級の先生が担任の先生と連携をとり、ドリルの進め方について検討してくださいました。親にもアプローチの仕方を指導していただいたお陰で、3学期は期限内に余裕をもって提出することができました。

日頃の会話から息子の困っていることを見付け、ご指導・ご配慮いただいたことに大変感謝しております。

親の会総会の内容が承認されました

紙面総会となった親の会総会でしたが、198名の方が承認の確認票をご提出くださり、今年度の活動計画・予算・会則・役員が承認されました。会員の皆様、ありがとうございました。

親の会の活動について、次のようなご意見をいただきました。

コロナ禍での活動を工夫して行っていただき、ありがとうございます。なかなか参加できずにいますが、魅力ある学習会を企画されているのでいいと思います。

役員様、先生方、子どもたちのために本当にいつもありがとうございます。

皆様のご意見、ご要望を参考にしながら、今年度の活動を進めて参ります。いつでもお知らせください。

第1回学習会が開催されました

6月25日(土)、新潟県立佐渡中等教育学校長 白藤恵一様をお招きし、「安心して高校生活を送るために～小・中学校と高等学校の違いとは…様々な高等学校勤務を振り返って～」という題でご講演をいただきました。

一昨年度親の会で行った佐渡市内の県立高等学校に通級指導教室の設置を求める署名活動に続く取組です。白藤様は、新潟県内で通級指導教室の立ち上げや定時制高等学校の経験があり、実際の教育課程などの実例を挙げて詳しくお話ししてくださいました。児童・生徒のこれからの進路について考える大変よい機会になりました。

参加者の感想をいくつか紹介します。

- ・高校の通級の様子が分かってよかったです。ありがとうございました。
- ・まだ自分の子どもは小学生ですが、将来、高校進学について分からないことがたくさんあったので、今日の講演会で支援学級の子も高校に通えると知ることができてよかったですし、細やかな対応もしていただけると知り、少し安心できました。
- ・様々な高等学校の在り方について知ることができ、短い時間でしたがとても有意義な時間でした。ひとつの選択肢として、定時制があることを学びました。ありがとうございました。



第1回運営会議が開かれました

6月14日(火)に第1回運営会議が開かれ、昨年度の報告と今年度の教室運営について審議しました。寄せられたご意見を今後の教室運営に活かしていきます。

夏季言語検査・情報交換会を行います

夏季休業中に、保育園・幼稚園を対象とした夏季言語検査と、通級児童の在籍校担任との情報交換会を行います。よろしくお願いたします。

